

上学年保護者各位

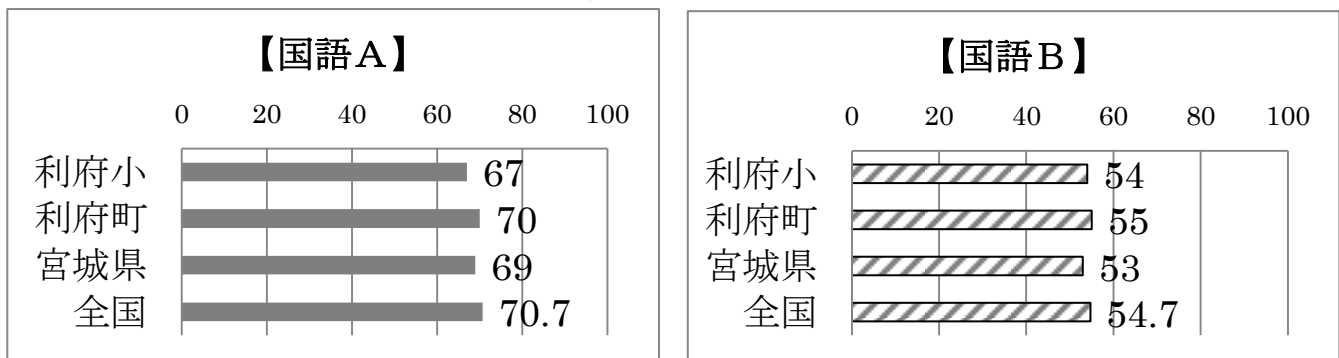
利府町立利府小学校  
校長 梅津 可奈子

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果とこれからの取組

今年の4月17日(火)に、全国の公立小学校に通う6年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が7月下旬に発表されました。これに基づいて、この度、本校の児童の学習や生活の状況について、良さや課題についてまとめましたので、お知らせいたします。なお、個人票もあわせてお渡しいたしますのでお読みいただき、お子さまのこれからの学習と生活の改善に役立てていただきますようお願い申し上げます。

## 1. 学力調査の結果

(1) 国語(国語A:主に知識に関する問題, 国語B:主に活用に関する問題) 平均正答率(%)

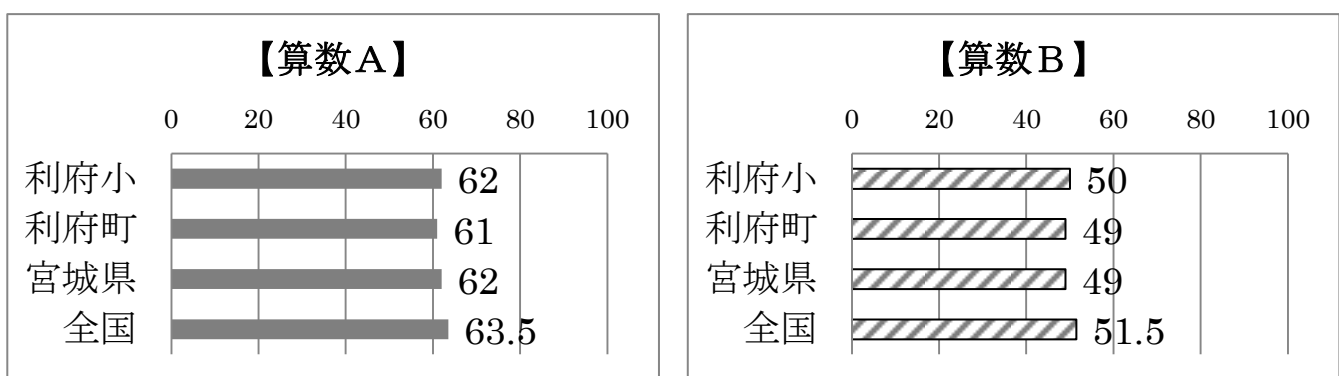


- ・ 国語A(主に知識に関する問題)については、全国平均正答率を3.7ポイントと大きく下回っており、言語についての知識・理解と読むことの内容に課題があることが分かります。
- ・ 国語B(主に活用に関する問題)については、全国平均正答率を0.7ポイント下回っています。

◎よくできていた点 ●課題としてあげられる点

- ◎目的に応じて必要な情報を捉える問題の正答率が高くなっていました。
- ◎日常生活で使われている慣用語の意味を理解し使う問題の正答率が高くなっていました。
- 漢字を文の中で正しく使うことや、自分の考えを明確にしながらか読むことに課題が見られました。

(2) 算数(算数A:主に知識に関する問題, 算数B:主に活用に関する問題) 平均正答率(%)

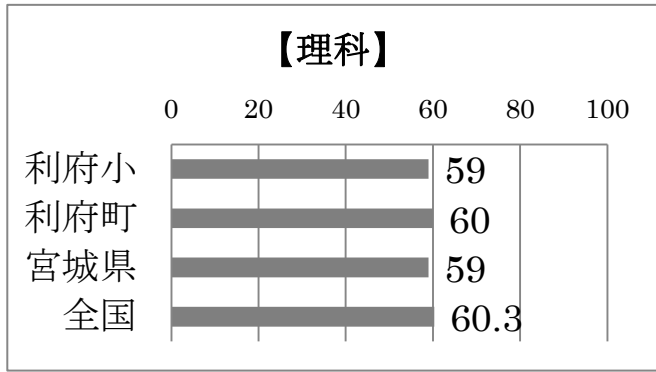


- ・ 算数A(主に知識に関する問題)については、全国平均正答率を1.5ポイント下回っており、数量や図形の知識・理解の内容に課題があることが分かります。
- ・ 算数B(主に活用に関する問題)については、全国平均正答率を1.5ポイント下回っています。

◎よくできていた点 ●課題としてあげられる点

- ◎小数の除法の意味について理解する問題の正答率が高くなっていました。
- ◎正三角形の性質や、一つの点の周りに集まった角の大きさの和が $360^\circ$ であることを理解していました。
- 直径の長さや円周の長さの関係や折れ線グラフの変化の特徴を読み取ることに課題が見られました。

(3) 理科平均正答率 (%)



・ 理科については、全国平均正答率を1.3ポイント下回っており、主に自然事象についての知識・理解に課題があることが分かります。

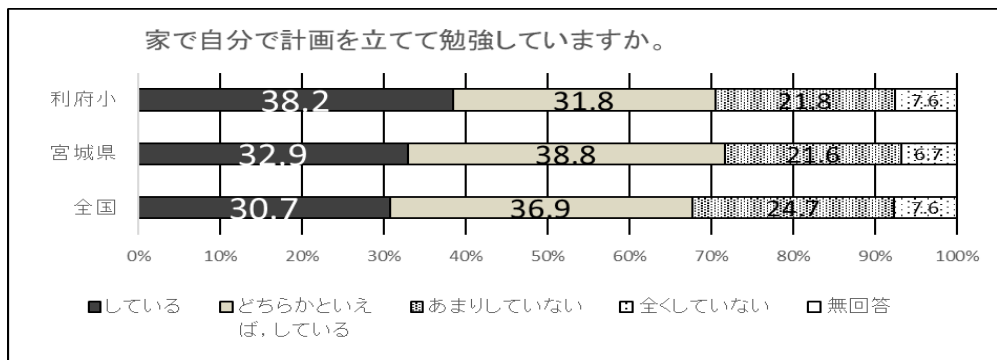
- ◎よくできていた点 ●課題としてあげられる点
- ◎太陽の一日の位置の変化について理解する問題の正答率が高くなっていました。
- ◎複数の情報を関連付けながら分析する問題の正答率が高くなっていました。
- 流れる水の働きにより、地形がどのように変化するかを理解する問題に課題が見られました。

2. 今後の取組について

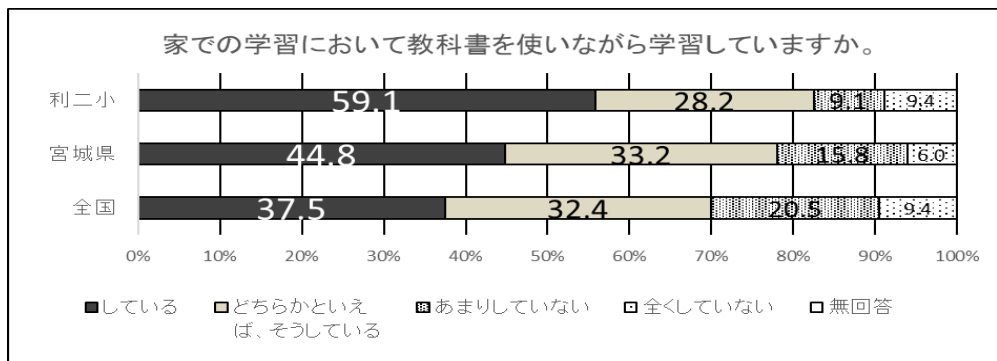
- 【国語】**
  - ・漢字の読み書きの更なる習熟を図り、文章の中で適切に活用できるように、ミニ作文を書かせるなど、日常的に書く活動を意識的に取り入れていきます。また、しっかりと「読むこと」「自分の考え書くこと」「自分の思いを話すこと」を大切に指導を進めていきます。
- 【算数】**
  - ・課題を明確に提示し、何について考え学んでいるのかを意識させる授業づくりをしていきます。さらに、振り返りや適用問題を解く時間を確実に設定していきます。
- 【理科】**
  - ・観察や実験を通し、より実感を伴った授業づくりを進めていきます。

3 学習状況調査の結果から

(1) よい傾向が見られる項目

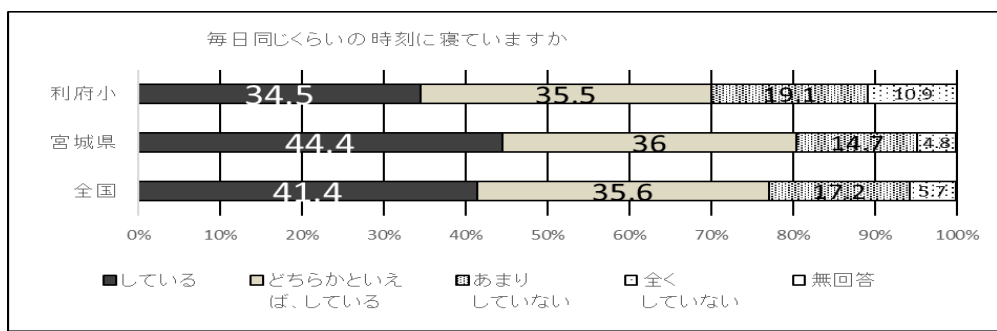


「自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童は、約70%です。これは全国の割合よりやや高い比率になっています。今後も復習を中心とした家庭学習の習慣化を図り、更に予習をすることの大切さも声掛けしていきます。



「家で教科書を使いながら学習している」と回答した児童は、約80%です。これは全国の割合より約10%高い比率になっています。今後も、教科書を有効に活用した家庭学習の充実を図っていきます。

(2) 改善が必要と思われる項目



「毎日同じくらいの時刻に寝ている」と回答した児童は、約70%です。これは宮城県の割合より約10%低い比率になっています。今後は、規則正しい生活リズムが大事であることを声掛けしていきます。